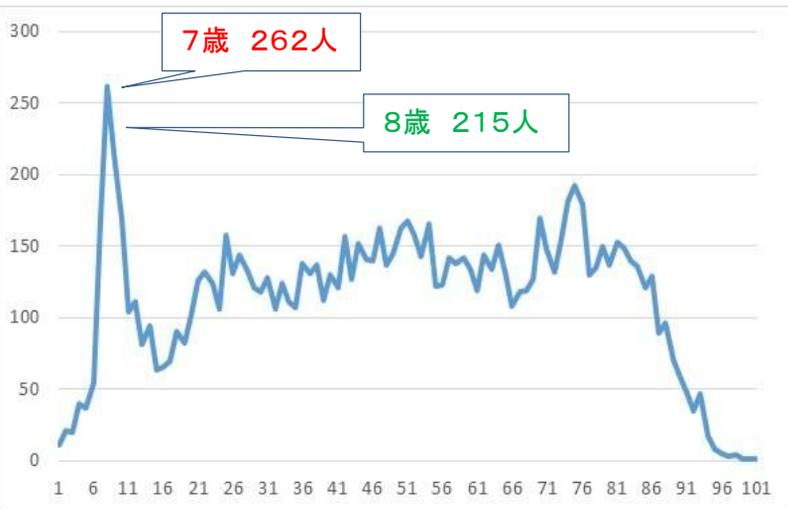


保護者・先生の皆様へ

# 大切な子ども達を

# 交通事故から守りましょう！

【年齢別】歩行中の交通事故死傷者数(福岡県:過去5年)



※ 過去5年とは、令和3年から令和7年までの間をいう。

県内の歩行中の交通事故死傷者を年齢別に見ると、左のグラフのとおり

## 7歳児が最多

で、次いで8歳児が多くなっています。

小学1年生は、新たに交通社会に参加することになりますが

○ 道路上の危険についての知識がまだ未熟

○ 一人で行動する範囲が広がる

ことから、事故に遭う危険性が高くなります。

保護者の皆様は、お子様の**通学路**やよく通る道と一緒に歩いて、**子どもの目線で危険を確認**し、道路を横断する際は、「止まって、見て、手をあげるなど合図を出して、待って」渡るを習慣付けるなど、日常生活の中で**交通ルール**について**繰り返し教育**をお願いします。

詳しくはコチラへ →



※ 県警ホームページに「**子どもの交通事故防止**」に関する情報があります。

## ～車に乗る際は、シートベルト・チャイルドシートの適切な使用を～

- 一般道路、高速道路を問わず、**後部座席を含む全ての座席**でシートベルトを着用することが義務付けられています。事故に遭った際の衝撃は全座席に及びます。**後部座席もしっかりとシートベルトを締めましょう。**

- シートベルトは成人用に作られています。このため、子どもがチャイルドシートを使用せずシートベルトを装着した場合、衝突時に体を適切に保護できず、首等に重大な傷害が発生するおそれがあります。**6歳以上であっても、体格等の事情により、シートベルトを適切に着用させることができない場合は、チャイルドシートを使用しましょう。**



福岡県警察

# こうつうあんぜん



歩行中の交通事故死傷者数が突出して多い年齢は7歳児です。大人が手本となって、今のうちから正しい交通ルールやマナーをしっかりと教えてください！

## 「危ないこと」を教えましょう！

### 飛び出し！

こどもは、「興味があるものしか見ない、一度に一つのことしか把握しようとしなない」特性が！そのため、ボールを追いかけて、母親の姿を見て急に道路へ飛び出すことも。



車は急に止まれません！危険！

### 車の前後の横断！

こどもには「隠れている危険」などが理解できず、車の前後から横断することも！こどもの身長では、車の陰に隠れてしまい、こどもは接近する車が、車からはこどもが見えないことも。



車の前後の横断は、飛び出しと同じ！危険！

### 道路・駐車場での遊び！

こどもは、「真新しいもの、心惹かれるものなどに左右されやすい」特性が！登下校など、友達とのおしゃべりに夢中で車の接近に気が付かないことも。

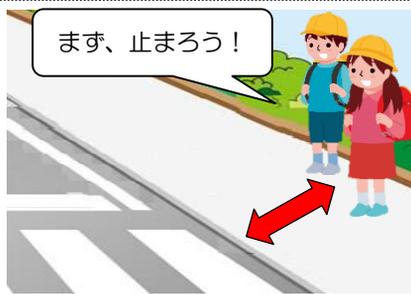


道路や駐車場は車が通る場所！危険！

## 「安全な横断」を教えましょう！

### 道路の横断は横断歩道！横断前に道路から離れて必ず止まる！

横断前に左右の安全確認のため、道路手前の安全な場所に必ず止まり、安全確認をさせましょう。



### 車のドライバーに手を上げて合図をする！

通行中の車のドライバーに顔を向け、手を上げて、自分が横断しようとしていることを明確に伝え、車が止まるのを確認させましょう。



### 横断中も左右の安全を確認しながら渡る！

ドライバーに気付いてもらいやすいように、手は上げたまま渡ります。そして、横断中も左右の安全を確認しながら渡らせましょう。

